

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

楽らく遊ゆう学がく

第322号

2026(令和8)年4月
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

特集

街の緑化・美化活動を行っているボランティア団体
「GREEN & CLEAN (グリーンアンドクリーン)大倉山」



(「GREEN & CLEAN 大倉山」の皆さん)

- P.2 特集 「GREEN & CLEAN 大倉山」
- P.3 連載「シリーズわがまち港北」第241回 林 宏美 著
- P.4 区民活動支援センターからのお知らせ

グリーン クリーン
「GREEN & CLEAN大倉山」(愛称グリクリ)には、グリーン部とクリーン部があります。グリーン部は「育む緑」をテーマに、クリーン部は「地域のごみ拾い」をテーマに、それぞれ地域に寄り添った活動を続けています。地域のために何かをしている人、何かをしたい人たちが集い、地域を想い、お互いに助け合いながら、仲間とできることを、それぞれのペースで活動している素敵な団体取材しました。

GREEN (植物の手入れ) と CLEAN (ごみ拾い) で、街をつなげたい

グリクリ設立のきっかけについて

「大倉山駅周辺を昔のように自然を感じる風景にしたい！」と考えていた「植物と暮らしの店 PLANTED」の代表・造園家三輪善昭さんと、「地域に落ちているごみを楽しく拾いたい！」と「大倉山おへそ」の共同代表・小澤麻美さんはそれぞれの想いを周囲に伝えていました。その二人を橋渡したのが「大倉山おへそ」で共同代表を務める、小松由希子さん。三輪さんの植物を愛でる気持ちに感銘を受けた小松さんは、三輪さんと小澤さんとなら一緒に素晴らしい活動ができると両者を引き合わせました。おふたりは、緑が増えることと、ごみのない街づくりはつながっていると意気投合し、2023年にグリクリ設立に至ったそうです。



三輪さん、小澤さん

やりたいことを発信していくと、やりたい誰かと出会い、人がつながり、夢がかなっていく大切さをあらためて感じました。

植物が増え、ごみのない街は環境保全につながっていく！

グリーン部は、ただ植えるだけの緑ではなく、緑は育てていくものと考え、港北区役所前の花壇を四季折々、緑があるように手入れをしています。今年4・5月に開催される港北オープンガーデンでは、GREEN×EXPO2027の開催に向け、公式マスコットキャラクター「トウクウク」が花壇に登場し、カラフルな花々で彩る予定です。皆さま、お楽しみに！

クリーン部は、去る2月の大倉山観梅会に遊び感覚でごみ拾いを体験できるブースを出展し、多くの子もたちでにぎわいました。

また、毎回ごみ拾った活動写真をSNSアプリ「ピリカ(Pirika)」に投稿し、世界中のユーザーに共有しています。



綺麗になった花壇



ごみ拾い後にコーヒータイムになるときもあります！

一緒に活動する仲間を募集中

●活動の流れ

活動日：第2日曜日 9時30分～10時30分

活動場所：港北区役所前（大豆戸町）

トングを使いながら、区役所近辺をごみ拾い後、造園家と一緒に花壇をメンテナンス



●参加方法

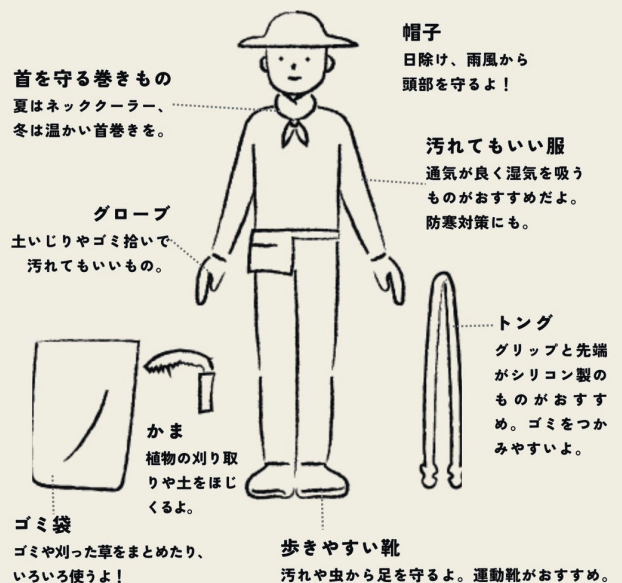
1. グリクリのインスタグラムをフォローして、最新情報を確認してください。
2. 参加可能な日に直接現地に集合



* 問合せメール：info.gac.okurayama@gmail.com

活動におすすめの身じたく

ホームセンターやAmazonなど、手に入れやすいものでOK



12年に一度の霊場巡り ―その10―

港北区域には霊場巡りがいくつもありますが、多くは十二支に合わせ、12年に一度の御開帳です。霊場巡りについてはこれまでもご紹介してきましたが、今年は准秩父観音霊場の御開帳があります。こちらは以前、次の御開帳がある2026年に紹介する2026年に紹介すると書きましたが、いよいよその時が来ました。

准秩父観音霊場は、川崎市と横浜市にまたがる、主に多摩川と鶴見川に挟まれた地域にあり、観音菩薩を祀る34カ所の寺院・庵・御堂からなる霊場です。各霊場は「札所」と呼ばれ、12年に一度、観音様の眷族(従者)である馬にちなんで、午歳の春4月に全札所が一斉に開帳されます。今回の御開帳期間は令和8年(2026年)4月10日から30日までの21日間で、各札所では御開帳に合わせて御朱印の授与が行われます。

開創の時期に関する明確な記録はないようですが、文化7年(1810年)には既に始まっていたと考えられています。江戸時代には社寺参詣と行楽を兼ねた巡礼が流行しました。しかし、長期にわたる旅ができるのは富裕層に限られていました。そこで庶民でも手軽に社寺を巡り、その功德を得られるよう、日本各地に有名な霊場を模した「写し霊場」が成立しました。准秩父観音霊場は、日本三大観音霊場の一つ、秩父観音霊場を模した霊場です。

全34カ所の札所のうち、港北区内には11カ所の札所があります。なお、現在は1カ所で複数の札所を兼ねている場合もあり、区内の札所は実質8カ所となっています。

御開帳までまだ少し時間がありますが、下見を兼ねて各札所を歩いてみましたので、以下にご紹介します。御開帳の案内や霊場の歴史、各札所の概要は准秩父観音霊場のWebサイトに掲載されています。あわせてご覧ください。

第1番札所の真福寺(下田町)は、観音巡りの出発点にふさわしい落ち着いた佇まいです。その日は本堂前で枝垂れ梅の白い花に迎えられ、心が和みました。本堂には4枚の御開帳のポスターが掲示され、来る御開帳を力強く知らせています。第2番札所の双松庵の建物はなく、ご本尊は真福寺に納められています。

第3番札所の金蔵寺(日吉本町)は、関東三十六不動尊霊場や武相二十八不動尊にも数えられる古刹です。金蔵寺を菩提寺とする第33代横綱武蔵山遺愛の松の前に、午歳にちなむ楽しい工夫がありました。ぜひその目で確かめてみてください。桜大門の桜はご開帳の頃には見頃を終えているでしょう。少し残念です。

第4番の西量寺(日吉本町)は真福寺と金蔵寺の間にあります。真福寺からの道はやや起伏がありますが、坂を下る途中、箕輪町周辺の鉄塔が並ぶ景色が印象的でした。

第13番の岩屋堂(日吉)は宮前公会堂の敷地内にあります。昔、洪水で山が崩れた際に土の中から観音様が現れたことから、その場所に御堂を建て観音様を祀ったことが始まりとされています。

第24番の大聖院(箕輪町)は、日吉の丘公園の高台を背に本堂が建っています。山門を入った左側にご本尊を祀る釈迦堂があります。筆者の訪問時には整備をしているようでした。

第25番の陽林寺(綱島台)の門前には、ご本尊の十一面観世音菩薩を描いた第二十五番霊場を示す石碑があります。なお、陽林寺の御朱印は川崎区にある第20番札所の宗三寺での対応となっています。

第26番の浄流寺(新吉田町)は、他の札所から少し離れていますが、経路の起伏は緩やかです。周辺に残る「貝塚」の地名に歴史を感じます。境内の石碑に刻まれた「かけた情は水に流せうけた恩は石に刻め」という「刻石流水」の教えが胸に染みます。

第27番の興禅寺(高田町)は桜の名所です。参道の安行桜は3月を前にすでに咲き始めていました。静かな境内には、キツツキが木をつつく軽やかなリズムが響いていました。

第28番の塩谷寺(高田西)は境内に池と弁財天があり、水辺の景観に他と少し異なる趣があります。期間中の4月19日には護摩法要や雅楽・ウクレレの演奏も予定されています。御開帳に合わせて改修したのでしょうか、本堂の入口の階段や回廊が新しくなっていました。第29番の観音寺は廃寺となっており、ご本尊は塩谷寺に遷座されています。

御開帳は12年に一度ですので、機を逸すればまた12年を待たなければなりません。次を迎える頃には程度の差こそあれ、今とは生活も変わっていることでしょう。だからこそ「今しか巡れない」という特別感があります。

また、便利な交通手段もなく、道も舗装されていなかった時代には、34カ所の札所が比較的近くにあるとはいっても、その道のりは決して容易ではなかったはずです。現在は住宅地となっている丘にもかつては木々が鬱蒼と茂り、丘の上から臨む景色も、今とは大きく異なっていたことでしょう。しかし、その景色に心癒される感覚は今も昔も変わらないのかもしれませんが。

御開帳のポスターには「あなた自身こそ、観音さまそのもの。確かめに出かけよう。」とのメッセージがあり、その言葉にも心を動かされます。12年に一度のこの機会、ぜひ札所を巡ってみてはいかがでしょうか。なお、札所は信仰の場です。巡拝の際は心静かに、決まりや作法を守ってお参りください。

記: 林 宏美(公益財団法人大倉精神文化研究所図書館運営部長 兼 研究員)

区民活動支援センターからのお知らせ

港北区「まちの先生」を更新しました。

令和8・9年度 登録
引き続き受付中！

2年ごとに更新している港北区「まちの先生」が、4月1日に更新されました。新しい講座も増えましたので、ぜひご利用ください。

港北区「まちの先生」のウェブサイトもリニューアルし、様式も刷新！ご依頼の方法等も変更しました。詳細は、ウェブサイトでご確認ください。

* 港北区「まちの先生」とは・・・

区民同士が、大人も子どもも世代を越えて、ともに学びあう環境づくりを推進することを目的としています。

ボランティア活動に意欲のある方が「まちの先生」となり、区内の小・中学校、各種施設、自治会・町内会、活動団体、その他学習・地域グループ等からの依頼に応じ、学習活動の場に出向き、講演・指導等を行います。

* 港北区「まちの先生」は個人での依頼はできません。



港北区まちの先生

検索

港北区区民活動支援センターの団体登録方法が変わります！

4月1日から当センターの施設利用登録、貸出機材利用登録の方法が変わります！



当センターの会議室・印刷機等、情報交換ボックス、機材・布おもちゃ等の貸出しをご利用の団体の皆さま！利用登録証のカードの有効期限が、**2026年3月31日**もしくは**令和8年3月31日**になっていませんか？有効期限が切れている方は、当センターの窓口（港北区役所4階48番窓口）で更新手続きをしてください。

お手続きの際は、**お手元の古い証、団体規約などと本人確認書類**をお持ちください。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

横浜地域活動・ボランティア情報サイト「よこむすび」をご存じですか？

スマートフォンやパソコンで、地域のイベントやボランティア情報を手軽に検索できるサイト「よこむすび」に、港北区の情報の掲載が始まりました！

港北区で活動する自治会・町内会や各種団体の情報、参加できるイベントやボランティア情報を紹介しています。「地域で何かしたい」「ボランティアをやってみたい」人は、ぜひご利用ください。新しい仲間との出会いが、きっと見つかります。

問合せ 港北区地域力推進担当 電話 540-2247
市民局地域活動推進課 電話 671-3624



港北区で、つながる。ひろがる。

よこむすび
横浜地域活動・ボランティア情報サイト

★ 游学スポット（港区内・周辺のイベント情報）

港北区周辺の団体から寄せられたイベント情報は、右の二次元コードからチェック！



港北区区民活動支援センター（港北区役所4階48番窓口）

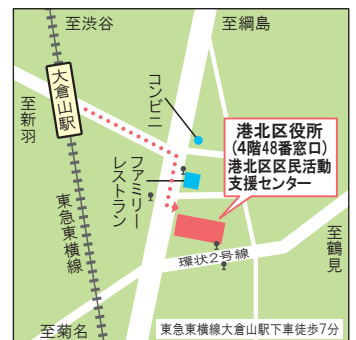
〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246 Eメール ko-center@city.yokohama.lg.jp

開館時間 月～金曜 8時45分～17時（土・日曜、祝日、年末年始除く）

港北区区民活動支援センター

検索



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷